2026年11月12日

各　　位

会　社　名　株式会社　成学社
代　表　者　代表取締役社長　永井 博
（コード：２１７９、東証スタンダード市場）
問 合 せ 先　取締役経営企画部長　山本 一之
TEL.０６－６３７３－１５７１

2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想値と実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異について
（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回予想（A）	7,605	211	196	109	19.79
当期実績（B）	7,668	320	314	185	33.36
増減額（B－A）	63	109	117	75	
増減率（%）	0.8	51.9	60.1	68.8	
（参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	7,066	167	159	72	13.09

（２）個別業績予想値と実績値との差異

	売上高	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想（A）	7,185	147	72	13.13
当期実績（B）	7,235	256	137	24.76
増減額（B－A）	49	108	64	
増減率（%）	0.7	73.6	88.8	
（参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	6,640	110	33	5.99

２．差異の理由について

＜連結業績＞

売上高は、ほぼ予想値の通り推移いたしました。利益面は、教材等の仕入や設備の修繕及び入替が予想値を下回ったこと、採用活動における掲載媒体の取捨選択を進めたことにより求人広告費が抑制できたこと等により全体の費用が予想値を下回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに前回予想を大幅に上回る結果となりました。

＜個別業績＞

個別業績についても、連結業績と同様の要因による差異が生じております。

なお、2027 年３月期の通期業績予想については、当社グループを取り巻く今後の事業環境を鑑みて、現時点では 2026 年５月 14 日に公表いたしました内容に変更はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上